

## (2) 今期の景況と来期の見通し

### 製 造 業

#### 業況・売上額・受注残・収益

製造業の主要指標をみると、業況は $\Delta 22.0$ で前期比 6.2 ポイント減と大きく低調感が強まった。売上額は $\Delta 8.6$ で 6.6 ポイント減、受注残は $\Delta 9.8$ で 9.7 ポイント減とともに大幅に減少幅が拡大し、収益は $\Delta 15.2$ で 4.1 ポイント減とやや減益を強めた。来期の見通しについては、業況は厳しさが幾分和らぎ、売上額、受注残、収益はいずれも減少・減益幅がわずかに縮小する見込み。

業種別でみると、業況は「電気機械器具」は前期同様の厳しさが続き、「一般機械器具・金型」は大きく低調感が強まり、「金属製品・建設用金属製品」は極端に低迷した。売上額は、「一般機械器具・金型」は多少減少幅が縮小し、「金属製品・建設用金属製品」は前期同様の水準で推移し、「電気機械器具」は増加から減少に転じた。受注残は、「金属製品・建設用金属製品」は前期並の減少が続き、「電気機械器具」は若干低迷し、「一般機械器具・金型」は極端に減少を強めた。収益は、「金属製品・建設用金属製品」は大きく増加幅が拡大し、「一般機械器具・金型」は前期並の減益が続き、「電気機械器具」は若干低迷した。

#### 価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は 12.4 で 3.9 ポイント増と多少上昇傾向が強まり、原材料価格は 47.3 で 6.3 ポイント減と上昇幅が大きく縮小し、在庫は $\Delta 2.2$ で 0.1 ポイント減と適正範囲に保たれた。来期の見通しについては、販売価格、原材料価格はともに上昇傾向が幾分弱まり、在庫は不足感が若干強まる見通し。

業種別でみると、販売価格は、「金属製品・建設用金属製品」はやや上昇傾向が強まり、「電気機械器具」は極端に上昇幅が拡大し、「一般機械器具・金型」は上昇に転じた。原材料価格は、「一般機械器具・金型」、「電気機械器具」とともにわずかに上昇傾向が弱まり、「金属製品・建設用金属製品」は前期並の上昇が続いた。在庫は、「一般機械器具・金型」は大きく過剰感が改善し、「金属製品・建設用金属製品」はかなり不足感が改善し、「電気機械器具」は過剰から適正水準となった。

#### 資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りは $\Delta 9.0$ で 2.1 ポイント増とわずかに窮屈感が緩和した。借入難易度は $\Delta 6.4$ で 1.4 ポイント減と前期並の厳しさが続いた。借入をした企業は 7.4%で 7.1 ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は 10.3%で 1.3 ポイント減少した。来期の見通しについて、資金繰りは窮屈感がやや強まり、借入をする企業は今期同様で推移し、設備投資を実施する企業はわずかに減少する見込み。

業種別でみると、資金繰りは、「金属製品・建設用金属製品」は容易となり、「電気機械器具」は大きく改善し、「一般機械器具・金型」はかなり窮屈感が強まった。借入難易度は、「金属製品・建設用金属製品」は大幅に容易さが増し、「一般機械器具・金型」は増減なく推移し、「電気機械器具」はかなり後退した。今期借入をした企業は、「電気機械器具」は増減なく推移し、「金属製品・建設用金属製品」、「一般機械器具・金型」はともに大きく減少した。設備投資を実施した企業は、「金属製品・建設用金属製品」「電気機械器具」はともに前期同様変わらずとなり、「一般機械器具・金型」は大きく減少した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、1位は「原材料高」で39.7%となった。次いで2位は「売上の停滞・減少」で36.8%、3位は「同業者間の競争の激化」で19.1%となった。以下、4位は「仕入先からの値上げ要請」が16.2%、5位は「利幅の縮小」が10.3%となった。

重点経営施策では、1位は「経費を節減する」で52.9%となった。次いで2位は「販路を広げる」で50.0%、3位は「情報力を強化する」で13.2%となった。以下、4位は「人材を確保する」「新製品・技術を開発する」でともに10.3%、5位は「教育訓練を強化する」で4.4%となった。

## 業種別動向

### (1) 金属製品、建設用金属製品

業況は△31.8で前期比28.9ポイント減と極端に低迷した。収益は16.1で8.2ポイント増と大きく増加幅が拡大し、売上額は△0.7で0.2ポイント増と前期同様の水準で推移し、受注残は6.4で0.8ポイント減と前期並の減少が続いた。今期の「金属製品、建設用金属製品」は、収益は改善し、業況は悪化し、受注残、売上額はともに前期同様で推移した。価格動向については、販売価格は、14.1で3.2ポイント増とやや上昇傾向が強まり、原材料価格は51.1で0.6ポイント増と前期並の上昇が続いた。在庫は△5.4で18.3ポイント増とかなり不足感が改善した。資金繰りは7.5で18.2ポイント増と容易となり、借入難易度は14.3で14.3ポイント増と大幅に容易さが増した。借入をした企業は12.5%と大きく減少し、設備投資動向については、設備投資を実施した企業は25.0%と前期同様変わらずとなった。

来期の見通しについては、業況は今期同様で推移する見込み。売上額は増加に転じ、収益は増加幅がかなり拡大し、受注残はやや好調さを強める見通し。価格動向については、販売価格は上昇傾向がわずかに強まり、原材料価格は上昇幅が多少縮小するとみられる。在庫は今期同様の不足感が続き、資金繰りは今期並の容易な状況で推移し、設備投資をする企業は大幅に減少する見込み。

経営上の問題点については、1位は「原材料高」で50.0%、2位は「売上の停滞・減少」「工場・機械の狭小・老朽化」でともに25.0%、3位は「人手不足」「利幅の縮小」「販売納入先からの値下げ要請」「仕入先からの値上げ要請」「下請の確保難」でいずれも12.5%となった。重点経営施策については、1位は「販路を広げる」「経費を節減する」「情報力を強化する」「人材を確保する」「教育訓練を強化する」でいずれも25.0%、2位は「新製品・技術を開発する」「不採算部門を整理・縮小する」「工場・機械を増設・移転する」でいずれも12.5%となった。

### (2) 一般機械器具、金型

業況は△28.4で前期比14.6ポイント減と大きく低調感が強まった。売上額は△8.7で5.1ポイント増と多少減少幅が縮小し、収益は△18.4で1.2ポイント減と前期並の減益が続き、受注残は△27.6で21.1ポイント減と極端に減少を強めた。今期の「一般機械器具、金型」は、売上額は改善し、業況、受注残、収益はいずれも悪化した。価格動向については、販売価格は15.5で23.1ポイント増と上昇に転じ、原材料価格は28.5で3.2ポイント減とわずかに上昇傾向が弱まった。在庫は3.0で6.7ポイント減と大きく過剰感が改善した。資金繰りは△13.9で9.5ポイント減とかなり窮屈感が強まり、借入難易度は14.3で増減なく推移した。借入をした企業は0.0%で11.1ポイント減、設備投資動向については、設備投資を実施した企業は0.0%で11.1ポイント減とともに大きく減少した。

来期の見通しについては、業況は厳しさがかなり和らぐ見込み。受注残は大幅に改善し、売上額は減少幅が多少縮小し、収益は今期同様の減益が続く見通し。原材料価格は上昇傾向が幾分強まり、販売価格は上昇が大きく弱まるとみられる。在庫は今期同様の過剰感が続き、資金繰りは今期同様の苦しさで推移し、設備

投資をする企業は今期同様変わらない見込み。

経営上の問題点については、1位は「売上の停滞・減少」「原材料高」「仕入先からの値上げ要請」でいずれも33.3%、2位は「同業者間の競争の激化」で22.2%、3位は「輸入製品との競争の激化」で11.1%となった。重点経営施策については、1位が「販路を広げる」「経費を節減する」でともに33.3%、2位は「情報力を強化する」「新製品・技術を開発する」「不採算部門を整理・縮小する」でいずれも11.1%となった。

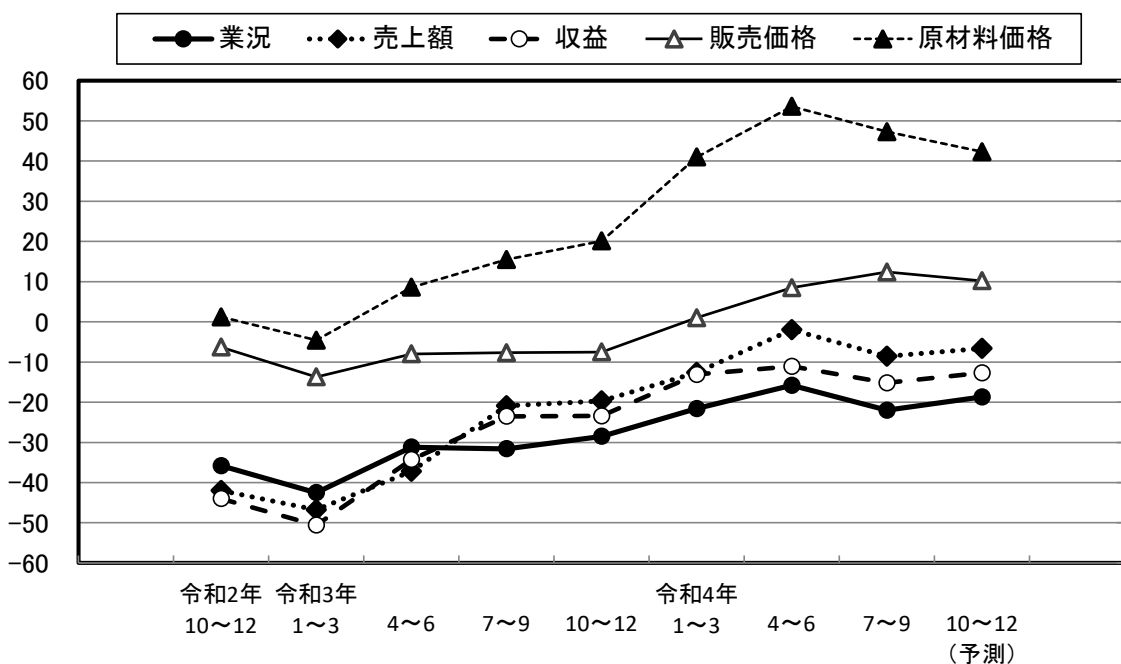
### (3)電気機械器具

業況は△13.9で前期比1.2ポイント減と前期同様の厳しさが続いた。収益は△30.9で1.8ポイント減、受注残は△3.8で3.6ポイント減とともに若干低迷し、売上額は△3.4で9.6ポイント減と増加から減少に転じた。今期の「電気機械器具」は、業況、売上額、受注残、収益いずれも悪化した。価格動向については、販売価格は23.4で23.4ポイント増と極端に上昇幅が拡大し、原材料価格は62.7で5.3ポイント減とわずかに上昇傾向が弱まった。在庫は△0.6で8.7ポイント減と過剰から適正水準となった。資金繰りは△6.5で18.2ポイント増と大きく改善し、借入難易度は0.0で8.4ポイント減とかなり後退した。借入をした企業は15.4%で増減なく推移し、設備投資動向については、設備投資を実施した企業は15.4%で前期同様変わらずとなった。

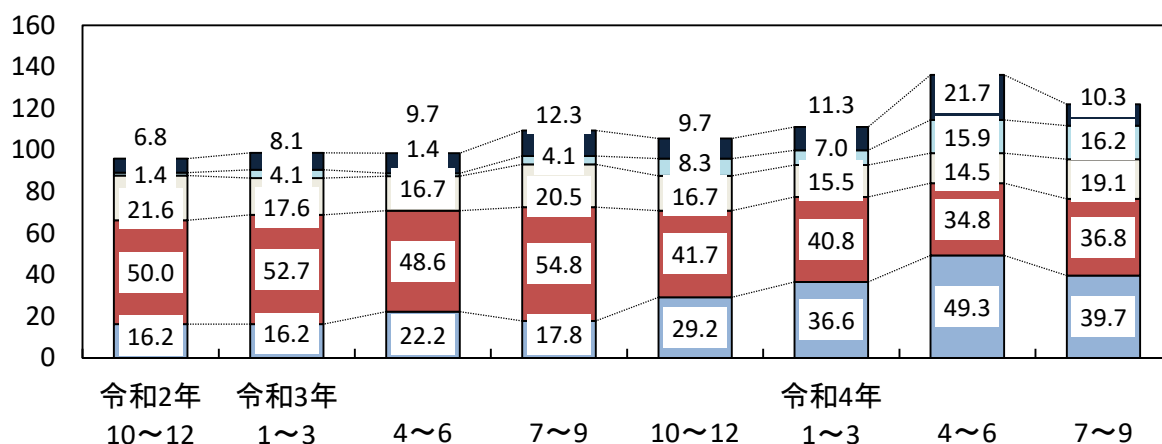
来期の見通しについては、業況は前期同様の厳しさが続く見込み。収益はやや改善し、売上額、受注残はともに減少幅がやや拡大する見通し。販売価格は上昇傾向がやや弱まり、原材料価格は上昇幅がかなり縮小するとみられる。在庫は不足感がわずかに強まり、資金繰りは窮屈感が多少強まり、設備投資を実施する企業は大幅に減少する見込み。

経営上の問題点については、1位は「原材料高」で38.5%、2位は「売上の停滞・減少」「利幅の縮小」でともに30.8%、3位は「大手企業との競争の激化」「同業者間の競争の激化」「仕入先からの値上げ要請」でいずれも15.4%となった。重点経営施策については、1位は「経費を節減する」で76.9%、2位は「販路を広げる」で46.2%、3位は「情報力を強化する」「新製品・技術を開発する」「人材を確保する」「パート化を図る」「工場・機械を増設・移転する」でいずれも7.7%となった。

業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予測



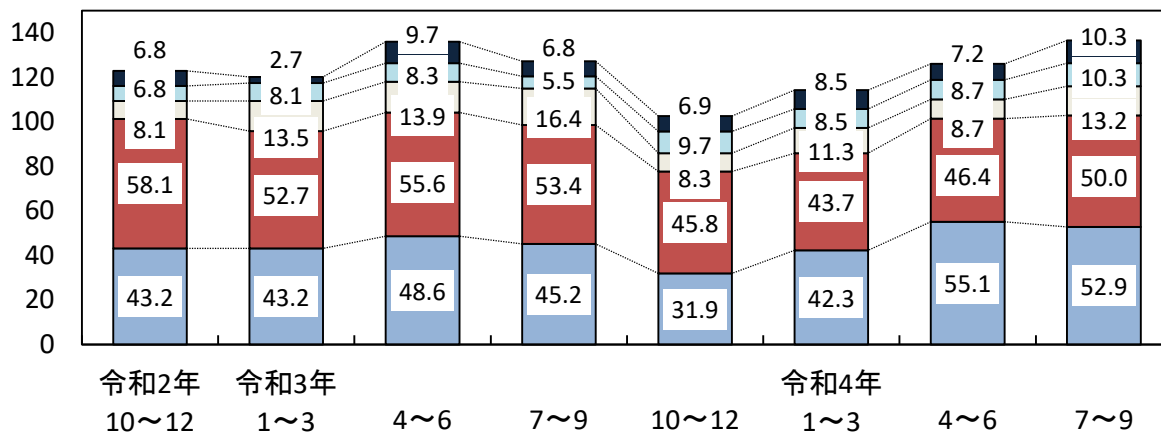
## 製造業 経営上の問題点（％）



■ 原材料高 ■ 売上の停滞・減少 □ 同業者間の競争の激化 □ 仕入先からの値上げ要請 ■ 利幅の縮小

	令和3年10月～12月期	令和4年1月～3月期	令和4年4月～6月期	令和4年7月～9月期
第1位	売上の停滞・減少 41.7 %	売上の停滞・減少 40.8 %	原材料高 49.3 %	原材料高 39.7 %
第2位	原材料高 29.2 %	原材料高 36.6 %	売上の停滞・減少 34.8 %	売上の停滞・減少 36.8 %
第3位	同業者間の競争の激化 16.7 %	同業者間の競争の激化 15.5 %	利幅の縮小 21.7 %	同業者間の競争の激化 19.1 %
第4位	利幅の縮小 9.7 %	利幅の縮小 11.3 %	仕入先からの値上げ要請 15.9 %	仕入先からの値上げ要請 16.2 %
第5位	仕入先からの値上げ要請 8.3 %	大手企業との競争の激化 8.5 %	同業者間の競争の激化 14.5 %	利幅の縮小 10.3 %
	人手不足 8.3 %	販売納入先からの値下げ要請 8.5 %		

## 製造業 重点経営施策（％）



■ 経費を節減する ■ 販路を広げる □ 情報力を強化する □ 人材を確保する ■ 新製品・技術を開発する

	令和3年10月～12月期	令和4年1月～3月期	令和4年4月～6月期	令和4年7月～9月期
第1位	販路を広げる 45.8 %	販路を広げる 43.7 %	経費を節減する 55.1 %	経費を節減する 52.9 %
第2位	経費を節減する 31.9 %	経費を節減する 42.3 %	販路を広げる 46.4 %	販路を広げる 50.0 %
第3位	人材を確保する 9.7 %	情報力を強化する 11.3 %	人材を確保する 8.7 %	情報力を強化する 13.2 %
			情報力を強化する 8.7 %	
第4位	情報力を強化する 8.3 %	人材を確保する 8.5 %	新製品・技術を開発する 7.2 %	人材を確保する 10.3 %
		新製品・技術を開発する 8.5 %		新製品・技術を開発する 10.3 %
第5位	新製品・技術を開発する 6.9 %	提携先を見つける 5.6 %	教育訓練を強化する 5.8 %	教育訓練を強化する 4.4 %
		機械化を推進する 5.6 %		
		教育訓練を強化する 5.6 %		
		工場・機械を増設・移転する 5.6 %		

# 卸 売 業

## 業況・売上額・収益

卸売業の主要指標をみると、業況は $\Delta 41.1$ で前期比5.1ポイント減とやや低調感が強まった。売上額は $\Delta 0.8$ で17.1ポイント減と増加から減少に転じ、収益は6.0で20.0ポイント増と増加に転じた。来期の見通しについては、業況は若干厳しさが増し、売上額は減少幅が大きく拡大し、収益は増加から減益に転じる見込み。

## 価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は34.7で2.6ポイント増とやや上昇傾向が強まり、仕入価格は57.4で1.9ポイント減とわずかに上昇幅が縮小した。在庫は $\Delta 12.2$ で14.6ポイント減と品薄に転じた。来期の見通しについては、販売価格は上昇傾向が大きく強まり、仕入価格は今期並の上昇が続く見込み。在庫は不足感が多少改善する見込み。

## 資金繰り・借入金・設備投資動向

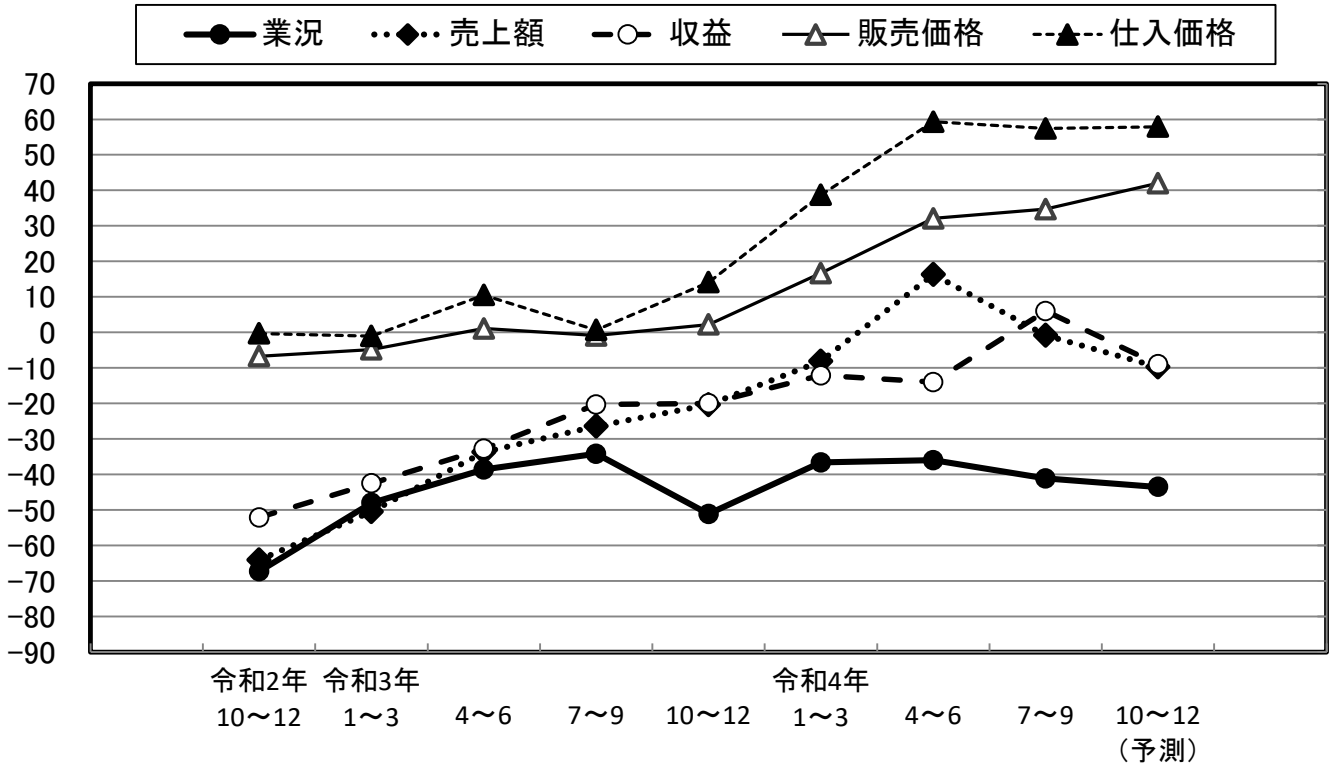
資金繰りは $\Delta 21.3$ で15.0ポイント減と大きく窮屈感が強まり、借入難易度は $\Delta 15.0$ で9.7ポイント減と大幅に厳しさが強まった。借入をした企業は25.0%と変動なく推移した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は5.0%で5.5ポイント減少した。来期の見通しについては、資金繰りは窮屈感がやや緩和し、借入をする企業、設備投資をする企業はともに今期同様変わらない見込み。

## 経営上の問題点・重点経営施策

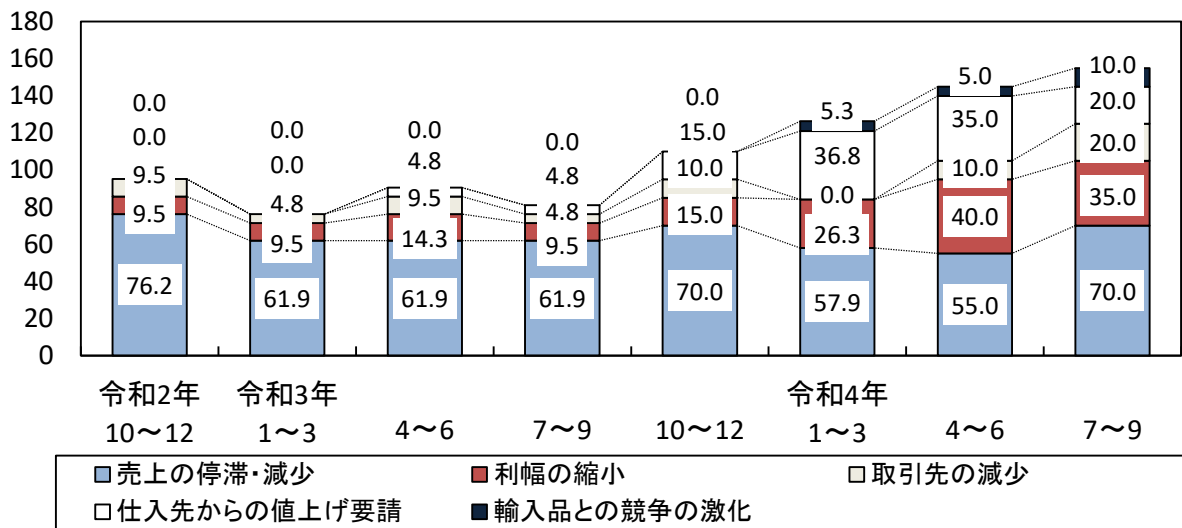
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」で70.0%となった。次いで2位は「利幅の縮小」が35.0%、3位は「取引先の減少」「仕入先からの値上げ要請」がともに20.0%となった。以下、4位は「輸入品との競争の激化」「人手不足」がともに10.0%。5位は「同業者間の競争の激化」「合理化の不足」「小口注文・多頻度配送の増加」「取扱商品の陳腐化」「販売商品の不足」「販売納入先からの値下げ要請」「天候の不順」「為替レートの変動」がいずれも5.0%となった。

重点経営施策は、1位は「販路を広げる」で60.0%となった。次いで2位は「経費を節減する」が50.0%、3位は「品揃えを充実する」が25.0%となった。以下、4位は「流通経路の見直しをする」「情報力を強化する」がともに15.0%、5位は「新しい事業を始める」「機械化を推進する」「人材を確保する」「パート化を図る」「教育訓練を強化する」「労働条件を改善する」「不動産の有効活用を図る」がいずれも5.0%と続いた。

業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

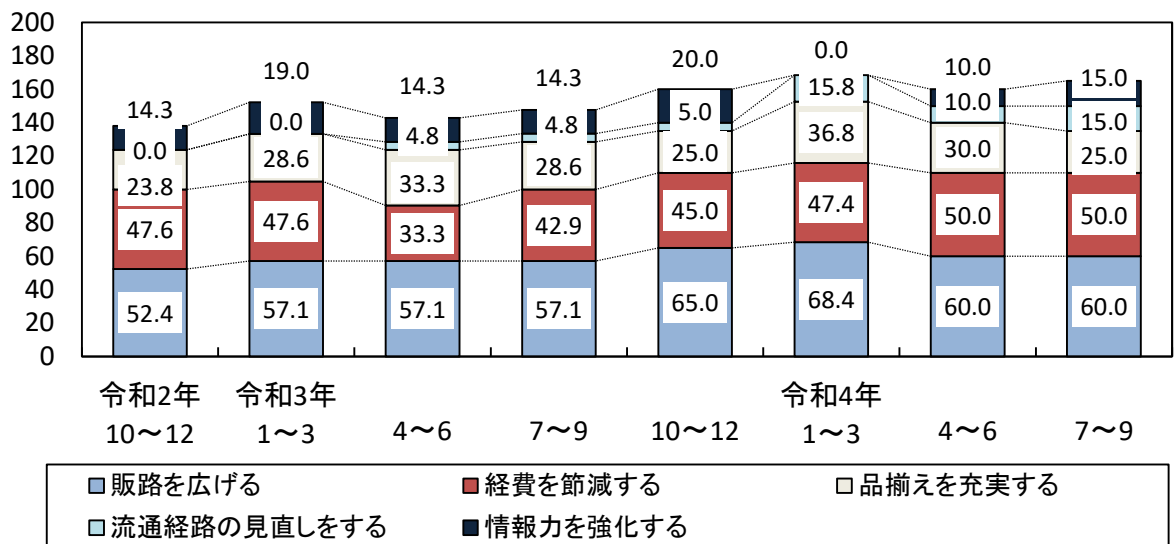


卸売業 経営上の問題点 (%)



	令和3年10月～12月期	令和4年1月～3月期	令和4年4月～6月期	令和4年7月～9月期
第1位	売上の停滞・減少 70.0 %	売上の停滞・減少 57.9 %	売上の停滞・減少 55.0 %	売上の停滞・減少 70.0 %
第2位	仕入先からの値上げ要請 15.0 % 販売商品の不足 15.0 % 利幅の縮小 15.0 % 同業者間の競争の激化 15.0 %	仕入先からの値上げ要請 36.8 %	利幅の縮小 40.0 %	利幅の縮小 35.0 %
第3位	人手不足 10.0 % 取引先の減少 10.0 %	利幅の縮小 26.3 %	仕入先からの値上げ要請 35.0 %	取引先の減少 20.0 % 仕入先からの値上げ要請 20.0 %
第4位	小口注文・多頻度配送の増加 5.0 % 取扱商品の陳腐化 5.0 % 為替レートの変動 5.0 %	同業者間の競争の激化 21.1 % 人手不足 21.1 %	人手不足 20.0 %	輸入品との競争の激化 10.0 % 人手不足 10.0 %
第5位		取扱商品の陳腐化 10.5 % 販売商品の不足 10.5 %	同業者間の競争の激化 15.0 %	同業者間の競争の激化 5.0 % 合理化の不足 5.0 % 小口注文・多頻度配送の増加 5.0 % 取扱商品の陳腐化 5.0 % 販売商品の不足 5.0 % 販売納入先からの値下げ要請 5.0 % 天候の不順 5.0 % 為替レートの変動 5.0 %

**卸売業 重点経営施策（％）**



	令和3年10月～12月期	令和4年1月～3月期	令和4年4月～6月期	令和4年7月～9月期
第1位	販路を広げる 65.0 %	販路を広げる 68.4 %	販路を広げる 60.0 %	販路を広げる 60.0 %
第2位	経費を節減する 45.0 %	経費を節減する 47.4 %	経費を節減する 50.0 %	経費を節減する 50.0 %
第3位	品揃えを充実する 25.0 %	品揃えを充実する 36.8 %	品揃えを充実する 30.0 %	品揃えを充実する 25.0 %
第4位	情報力を強化する 20.0 %	流通経路の見直しをする 15.8 % 人材を確保する 15.8 %	不動産の有効活用を図る 15.0 %	流通経路の見直しをする 15.0 % 情報力を強化する 15.0 %
第5位	人材を確保する 15.0 %	新しい事業を始める 10.5 %	流通経路の見直しをする 10.0 % 情報力を強化する 10.0 %	新しい事業を始める 5.0 % 機械化を推進する 5.0 % 人材を確保する 5.0 % パート化を図る 5.0 % 教育訓練を強化する 5.0 % 労働条件を改善する 5.0 % 不動産の有効活用を図る 5.0 %

## 小 売 業

### 業況・売上額・収益

小売業の主要指標をみると、業況は $\Delta 12.5$ で前期比4.6ポイント増とわずかに上向いた。売上額は0.6で2.1ポイント減と多少増加幅が縮小し、収益は $\Delta 11.8$ で4.2ポイント減と幾分低迷した。来期の見通しについては、業況は厳しさがかなり和らぎ、売上額は増加幅が若干拡大し、収益は減益幅がやや改善する見込み。

### 価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は11.0で10.7ポイント減と大きく上昇傾向が弱まり、仕入価格は25.8で3.3ポイント減とわずかに上昇幅が縮小した。在庫は $\Delta 0.4$ で7.7ポイント増と大幅に不足感が改善した。来期の見通しについては、販売価格、仕入価格はともに上昇傾向が多少強まり、在庫は適正水準が続く見込み。

### 資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りは $\Delta 14.8$ で7.9ポイント減と大きく窮屈感が強まった。借入難易度は3.7で3.7ポイント増と容易さがやや増した。借入をした企業は20.0%で9.2ポイント増加した。設備投資動向については、設備投資をした企業は8.8%で3.2ポイント増加した。来期の見通しについては、資金繰りは窮屈感がかなり緩和し、借入をする企業は大きく減少し、設備投資をする企業は幾分増加する見込み。

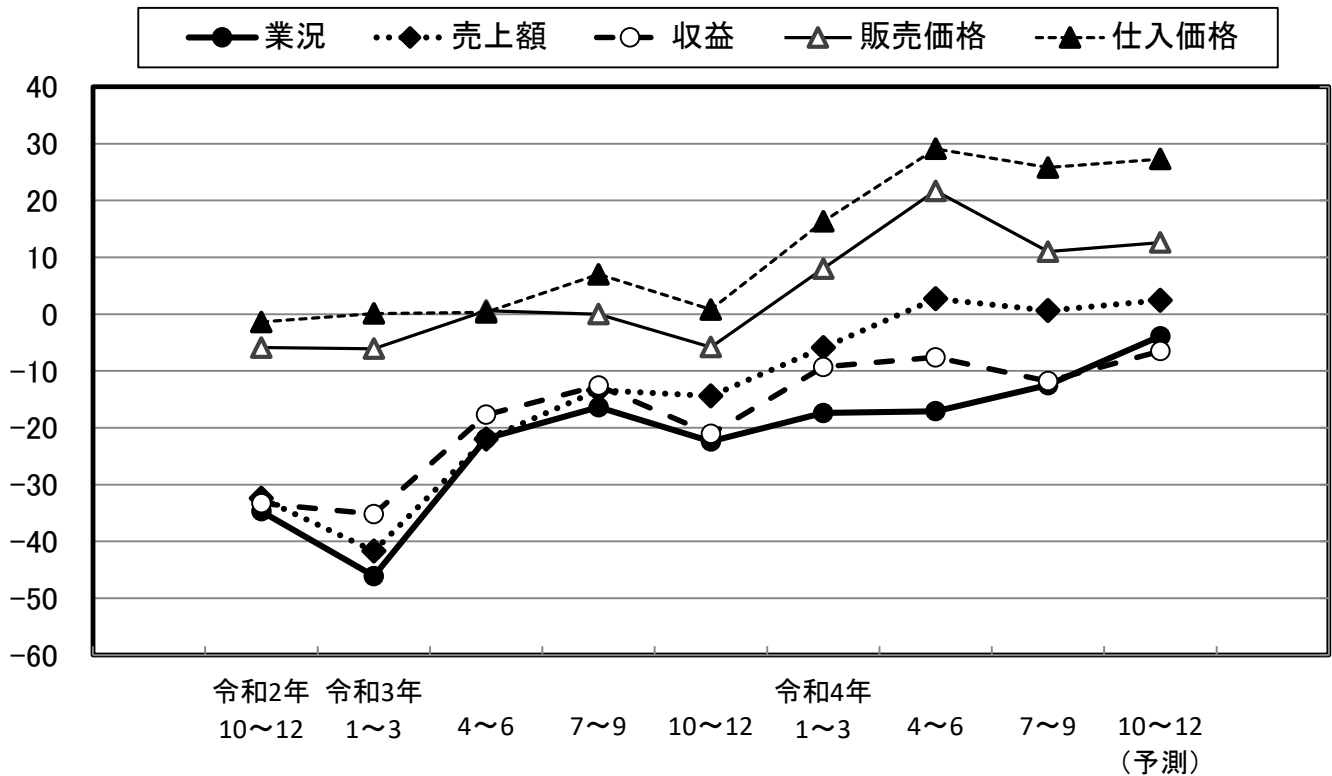
### 経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点については、1位は「売上の停滞・減少」で37.1%となった。次いで2位は「大型店との競争の激化」で22.9%、3位は「商店街の集客力の低下」で20.0%となった。以下、4位は「同業者間の競争の激化」が14.3%、5位は「利幅の縮小」で11.4%と続いた。

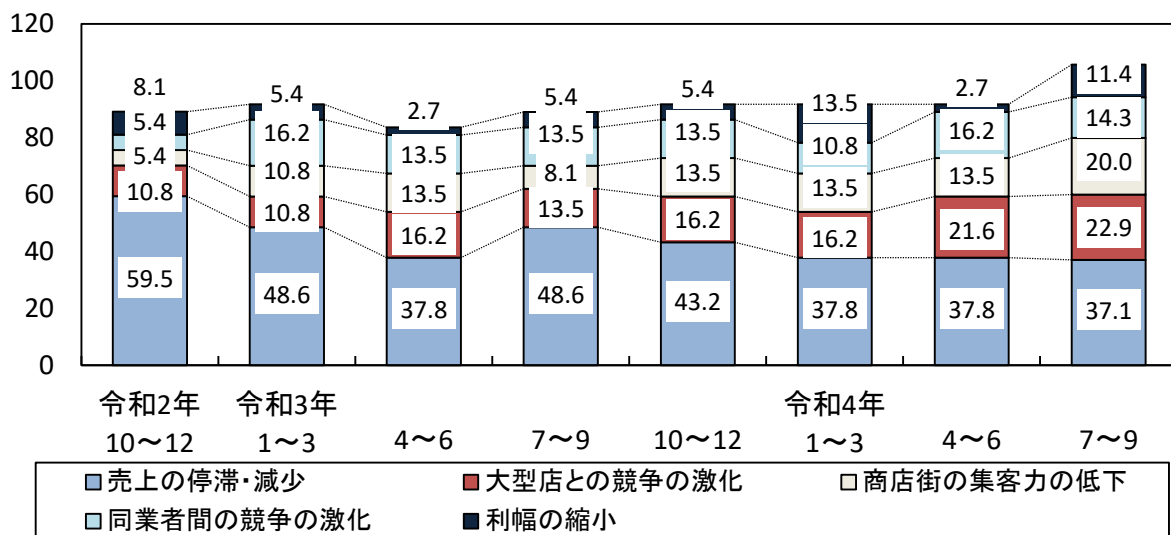
重点経営施策では、1位は「経費を節減する」で40.0%となった。次いで2位は「売れ筋商品を取り扱う」で25.7%、3位は「商店街事業を活性化させる」「宣伝・広告を強化する」でともに22.9%となった。以下、4位は「品揃えを改善する」で17.1%、5位は「仕入先を開拓・選別する」「人材を確保する」でともに8.6%と続いた。



業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

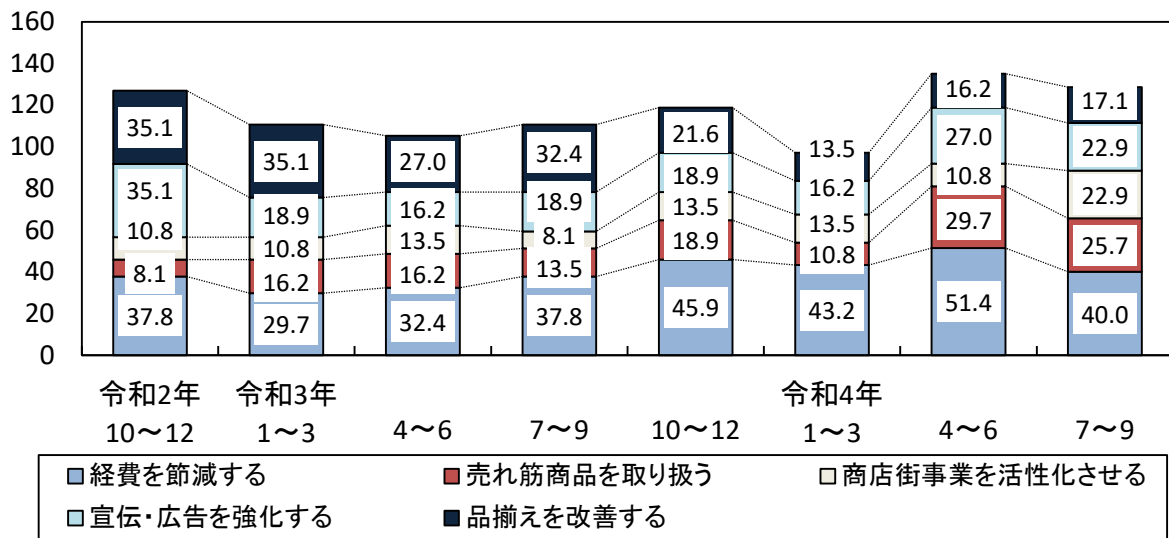


小売業 経営上の問題点 (%)



	令和3年10月～12月期	令和4年1月～3月期	令和4年4月～6月期	令和4年7月～9月期
第1位	売上の停滞・減少 43.2 %	売上の停滞・減少 37.8 %	売上の停滞・減少 37.8 %	売上の停滞・減少 37.1 %
第2位	大型店との競争の激化 16.2 %	大型店との競争の激化 16.2 %	大型店との競争の激化 21.6 %	大型店との競争の激化 22.9 %
第3位	商店街の集客力の低下 13.5 % 同業者間の競争の激化 13.5 %	商店街の集客力の低下 13.5 % 利幅の縮小 13.5 %	同業者間の競争の激化 16.2 %	商店街の集客力の低下 20.0 %
第4位	仕入先からの値上げ要請 8.1 % 人手不足 8.1 %	仕入先からの値上げ要請 10.8 % 人手不足 10.8 % 同業者間の競争の激化 10.8 %	店舗の狭小・老朽化 13.5 % 商店街の集客力の低下 13.5 %	同業者間の競争の激化 14.3 %
第5位	利幅の縮小 5.4 % 人件費以外の経費の増加 5.4 % 取引先の減少 5.4 % 天候の不順 5.4 %	店舗の狭小・老朽化 8.1 %	仕入先からの値上げ要請 8.1 %	利幅の縮小 11.4 %

### 小売業 重点経営施策（％）



	令和3年10月～12月期	令和4年1月～3月期	令和4年4月～6月期	令和4年7月～9月期
第1位	経費を節減する 45.9 %	経費を節減する 43.2 %	経費を節減する 51.4 %	経費を節減する 40.0 %
第2位	品揃えを改善する 21.6 %	宣伝・広告を強化する 16.2 %	売れ筋商品を取り扱う 29.7 %	売れ筋商品を取り扱う 25.7 %
第3位	売れ筋商品を取り扱う 18.9 % 宣伝・広告を強化する 18.9 %	商店街事業を活性化させる 13.5 % 品揃えを改善する 13.5 %	宣伝・広告を強化する 27.0 %	商店街事業を活性化させる 22.9 % 宣伝・広告を強化する 22.9 %
第4位	商店街事業を活性化させる 13.5 %	売れ筋商品を取り扱う 10.8 % 店舗・設備を改装する 10.8 %	品揃えを改善する 16.2 %	品揃えを改善する 17.1 %
第5位	仕入先を開拓・選別する 10.8 %	仕入先を開拓・選別する 8.1 % 人材を確保する 8.1 %	商店街事業を活性化させる 10.8 %	仕入先を開拓・選別する 8.6 % 人材を確保する 8.6 %

## サービス業

### 業況・売上額・収益

サービス業の主要指標をみると、業況は $\Delta 31.7$ で前期比2.3ポイント増とやや持ち直した。売上額は $\Delta 13.0$ で5.3ポイント増とわずかに減少幅が縮小し、収益は $\Delta 20.9$ で1.2ポイント減と前期並の減益が続いた。来期の見通しについては、業況は厳しさが大きく和らぎ、売上額は減少幅が多少拡大し、収益は今期並の減益が続く見込み。

### 価格・在庫動向

価格動向については、料金価格は9.8で3.1ポイント増と幾分上昇傾向が強まり、材料価格は27.7で0.1ポイント減と前期並の上昇が続いた。来期の見通しについては、料金価格、材料価格ともに上昇傾向が若干弱まる見込み。

### 資金繰り・借入金・設備投資動向

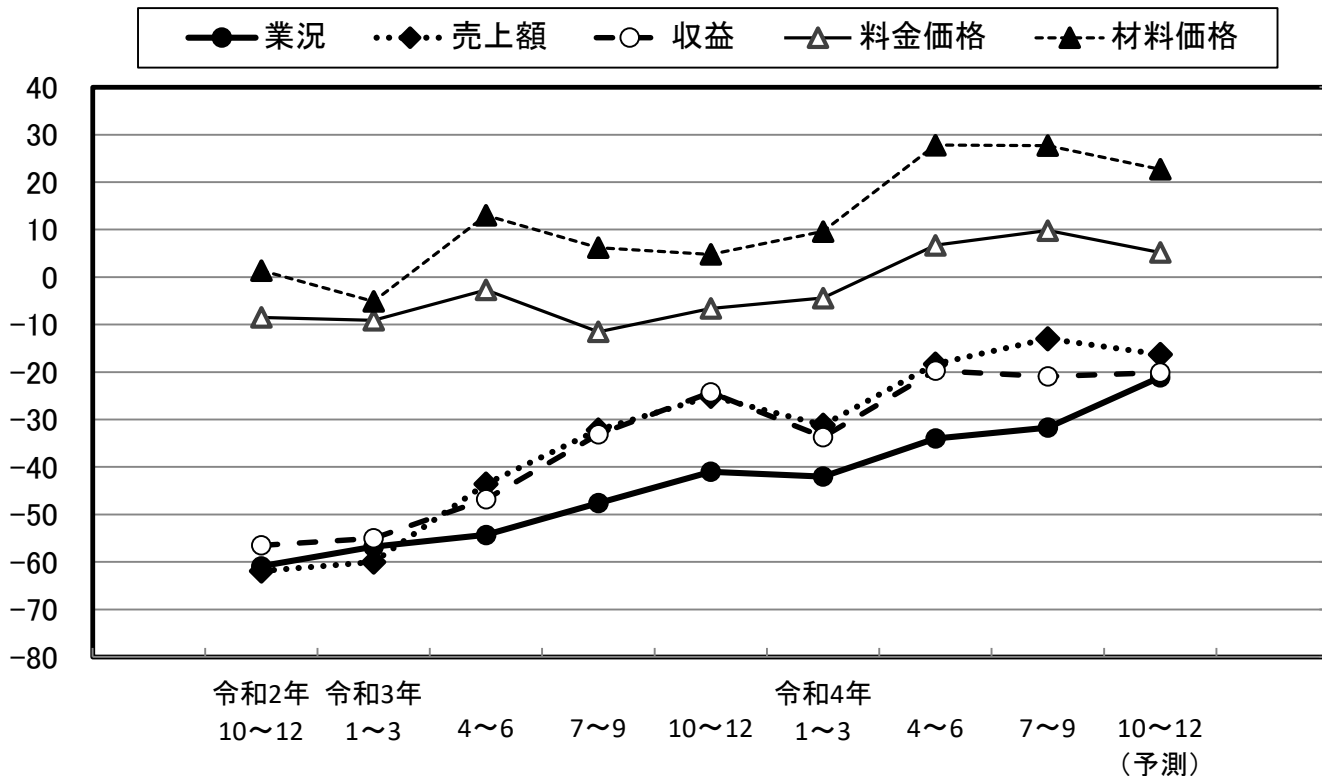
資金繰りは $\Delta 11.5$ で0.9ポイント増と前期並の苦しさとなり、借入難易度は $\Delta 11.8$ で3.7ポイント減と幾分厳しさが増した。借入をした企業は13.0%と2.4ポイント増加した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は15.2%と4.6ポイント増加した。来期の見通しについては、資金繰りは窮屈感が大きく強まり、借入をする企業はかなり減少し、設備投資を実施する企業はやや減少する見通し。

### 経営上の問題点・重点経営施策

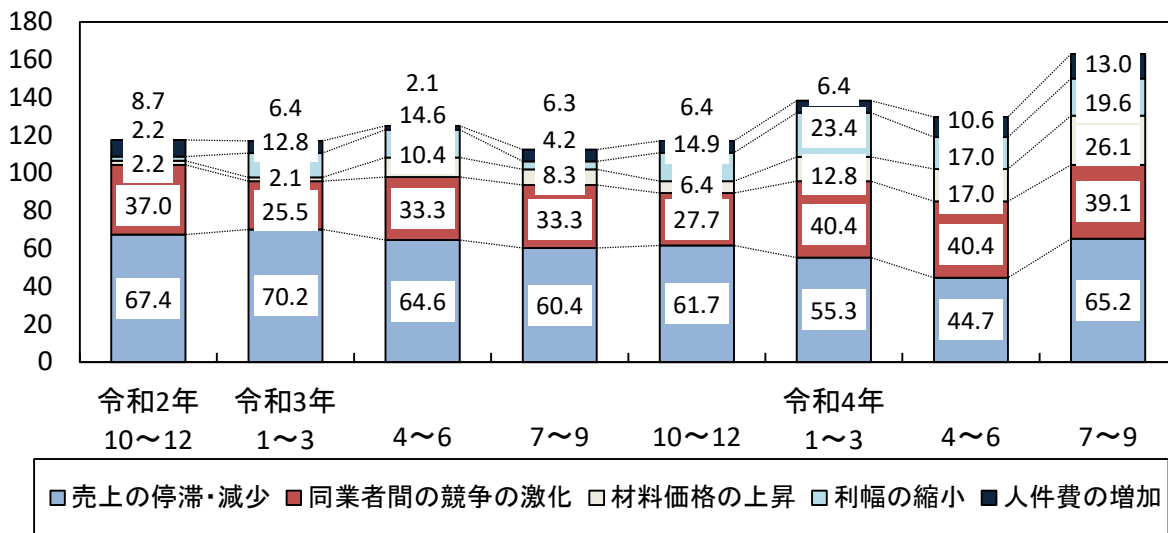
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」で65.2%となった。次いで2位は「同業者間の競争の激化」で39.1%、3位は「材料価格の上昇」で26.1%となった。以下、4位は「利幅の縮小」で19.6%、5位は「人件費の増加」で13.0%と続いた。

重点経営施策では、1位は「販路を広げる」で50.0%となった。次いで2位は「経費を節減する」で43.5%、3位は「宣伝・広告を強化する」で15.2%となった。以下、4位は「教育訓練を強化する」「提携先を見つける」でともに13.0%、5位は「技術力を強化する」で10.9%と続いた。

業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

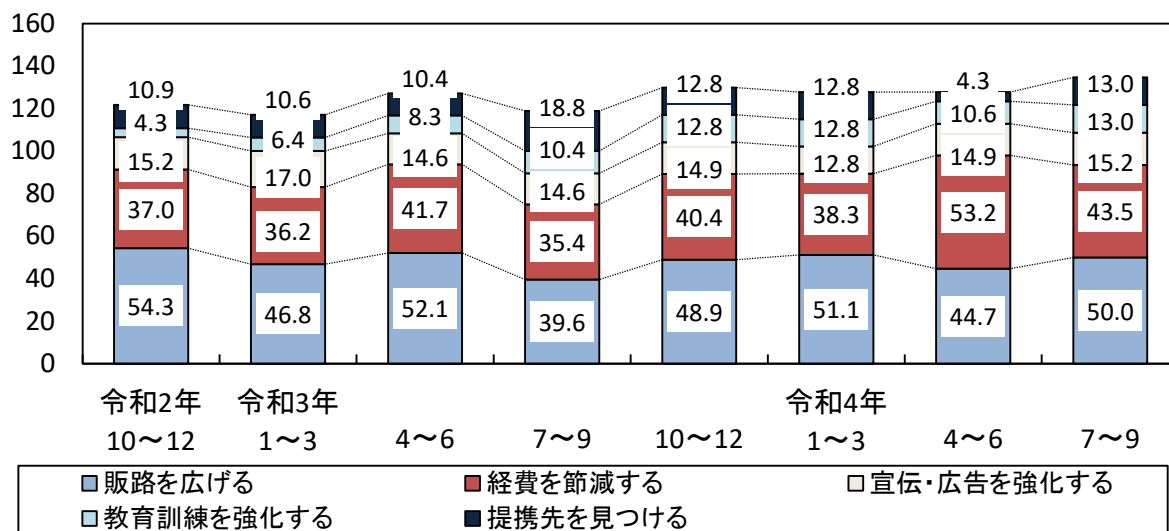


サービス業 経営上の問題点（％）



	令和3年10月～12月期	令和4年1月～3月期	令和4年4月～6月期	令和4年7月～9月期
第1位	売上の停滞・減少 61.7 %	売上の停滞・減少 55.3 %	売上の停滞・減少 44.7 %	売上の停滞・減少 65.2 %
第2位	同業者間の競争の激化 27.7 %	同業者間の競争の激化 40.4 %	同業者間の競争の激化 40.4 %	同業者間の競争の激化 39.1 %
第3位	取引先の減少 14.9 %	利幅の縮小 23.4 %	材料価格の上昇 17.0 %	材料価格の上昇 26.1 %
	利幅の縮小 14.9 %		利幅の縮小 17.0 %	
第4位	人手不足 12.8 %	材料価格の上昇 12.8 %	人手不足 14.9 %	利幅の縮小 19.6 %
第5位	大企業との競争の激化 6.4 %	人手不足 8.5 %	人件費の増加 10.6 %	人件費の増加 13.0 %
	材料価格の上昇 6.4 %			
	人件費の増加 6.4 %			

サービス業 重点経営施策（％）



	令和3年10月～12月期		令和4年1月～3月期		令和4年4月～6月期		令和4年7月～9月期	
第1位	販路を広げる	48.9 %	販路を広げる	51.1 %	経費を節減する	53.2 %	販路を広げる	50.0 %
第2位	経費を節減する	40.4 %	経費を節減する	38.3 %	販路を広げる	44.7 %	経費を節減する	43.5 %
第3位	宣伝・広告を強化する	14.9 %	教育訓練を強化する	12.8 %	宣伝・広告を強化する	14.9 %	宣伝・広告を強化する	15.2 %
			提携先を見つける	12.8 %				
			宣伝・広告を強化する	12.8 %				
第4位	教育訓練を強化する	12.8 %	人材を確保する	8.5 %	教育訓練を強化する	10.6 %	教育訓練を強化する	13.0 %
	提携先を見つける	12.8 %			人材を確保する	10.6 %	提携先を見つける	13.0 %
					技術力を強化する	10.6 %		
第5位	人材を確保する	8.5 %	技術力を強化する	4.3 %	提携先を見つける	4.3 %	技術力を強化する	10.9 %
			機械化を推進する	4.3 %				

## 建設業

### 業況・売上額・収益・受注残・施工高

建設業の主要指標をみると、業況は $\Delta 8.4$ で前期比1.7ポイント減とやや低調感が強まった。売上額は $\Delta 10.9$ で12.5ポイント減、受注残は $\Delta 1.5$ で10.6ポイント減、施工高は $\Delta 1.6$ で5.9ポイント減といずれも増加から減少に転じ、収益は $\Delta 20.2$ で15.2ポイント減とかなり低迷した。来期の見通しについて、業況は好転する見込み。売上額、受注残、施工高はいずれも増加に転じ、収益は減益幅が大きく縮小する見通し。

### 価格・在庫動向

価格動向については、請負価格は23.5で3.6ポイント減、材料価格は66.5で1.8ポイント減とともにわずかに上昇傾向が弱まった。在庫は $\Delta 14.4$ で4.1ポイント減と多少不足感が強まった。来期の見通しについては、請負価格は上昇傾向がかなり強まり、材料価格は今期同様の上昇が続き、在庫は今期同様の不足感が続く見込み。

### 資金繰り・借入金・設備投資動向

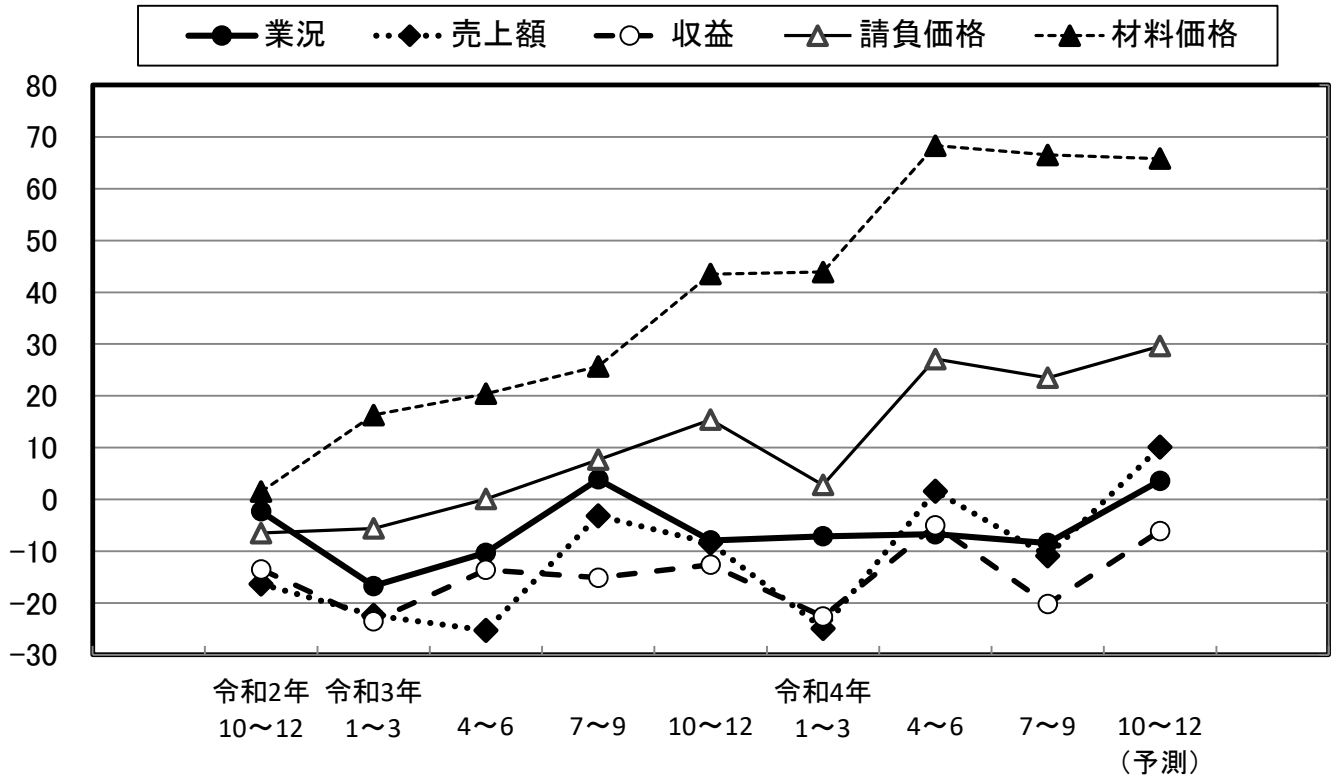
資金繰りは $\Delta 3.3$ で13.0ポイント減と厳しい状況に転じ、借入難易度は3.7で3.7ポイント増と幾分容易さが増した。借入をした企業は23.3%と10.4ポイント増加した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は16.7%と2.7ポイント減少した。来期の見通しについては、資金繰りは若干容易となり、借入をする企業、設備投資を実施する企業はともにかなり減少する見通し。

### 経営上の問題点・重点経営施策

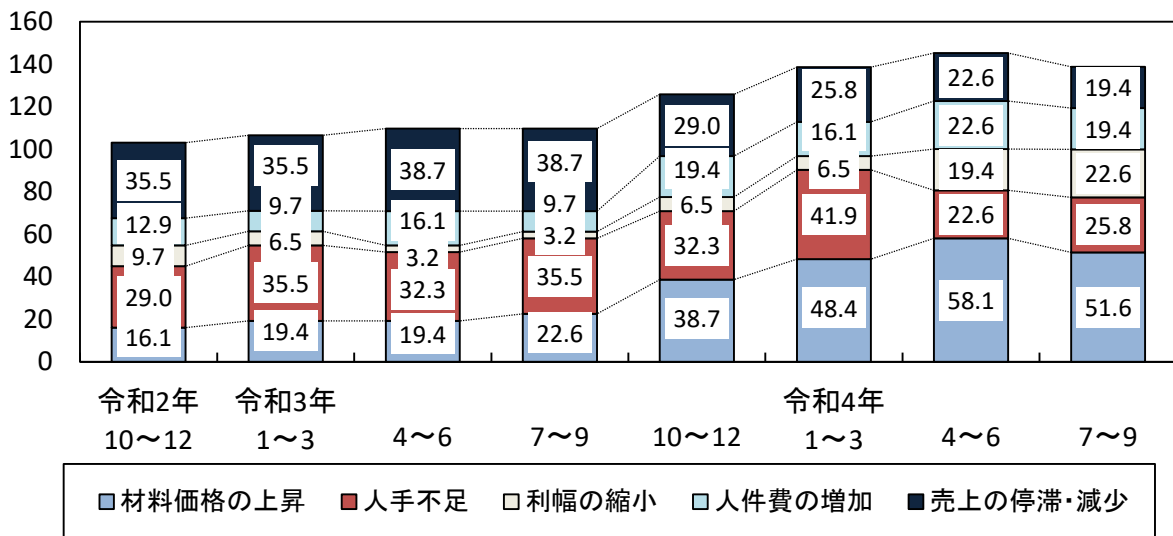
経営上の問題点は、1位は「材料価格の上昇」で51.6%となった。次いで2位は「人手不足」で25.8%、3位は「利幅の縮小」で22.6%となった。以下、4位は「人件費の増加」「売上の停滞・減少」でともに19.4%、5位は「大手企業との競争の激化」で12.9%と続いた。

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」で51.6%となった。次いで2位は「人材を確保する」で35.5%、3位は「販路を広げる」で29.0%となった。以下、4位は「技術力を高める」で25.8%、5位は「教育訓練を強化する」で9.7%と続いた。

業況と売上額、収益、請負価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

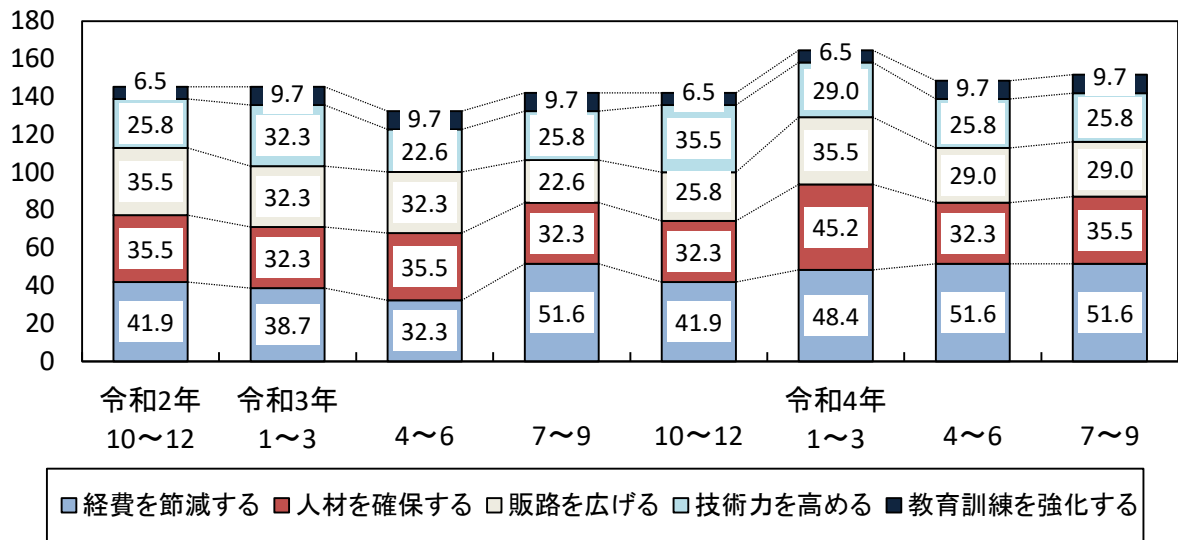


建設業 経営上の問題点（%）



	令和3年10月～12月期	令和4年1月～3月期	令和4年4月～6月期	令和4年7月～9月期
第1位	材料価格の上昇 38.7 %	材料価格の上昇 48.4 %	材料価格の上昇 58.1 %	材料価格の上昇 51.6 %
第2位	人手不足 32.3 %	人手不足 41.9 %	人件費の増加 22.6 % 人手不足 22.6 % 売上の停滞・減少 22.6 %	人手不足 25.8 %
第3位	売上の停滞・減少 29.0 %	同業者間の競争の激化 29.0 %	利幅の縮小 19.4 %	利幅の縮小 22.6 %
第4位	同業者間の競争の激化 22.6 %	売上の停滞・減少 25.8 %	同業者間の競争の激化 12.9 %	人件費の増加 19.4 % 売上の停滞・減少 19.4 %
第5位	人件費の増加 19.4 %	人件費の増加 16.1 %	大手企業との競争の激化 6.5 % 下請の確保難 6.5 %	大手企業との競争の激化 12.9 %

## 建設業 重点経営施策（％）



	令和3年10月～12月期		令和4年1月～3月期		令和4年4月～6月期		令和4年7月～9月期	
第1位	経費を節減する	41.9 %	経費を節減する	48.4 %	経費を節減する	51.6 %	経費を節減する	51.6 %
第2位	技術力を高める	35.5 %	人材を確保する	45.2 %	人材を確保する	32.3 %	人材を確保する	35.5 %
第3位	人材を確保する	32.3 %	販路を広げる	35.5 %	販路を広げる	29.0 %	販路を広げる	29.0 %
第4位	情報力を強化する	25.8 %	技術力を高める	29.0 %	技術力を高める	25.8 %	技術力を高める	25.8 %
	販路を広げる	25.8 %						
第5位	教育訓練を強化する	6.5 %	情報力を強化する	9.7 %	教育訓練を強化する	9.7 %	教育訓練を強化する	9.7 %